新入生としての決意を語る久保さん





短大生としてのスタート

4月4日 敦賀短期大学入学式

敦賀短期大学の入学式が行われ、今年は41人の新入生が新 生活のスタートを切りました。三橋昌幸学長が「授業をおろ そかにせず、真摯に学業に励んでほしい」と式辞を述べると、 新入生を代表して久保楓さんが「先生方に助けてもらいなが ら勉学に励み、立派な社会人になるための準備をしていきた い」と、新たな学生生活への決意を述べました。



第6次敦賀市総合計画 前期基本計画を市長に答申

平成23年度から10年間のまちづくりの指針とな る「第6次敦賀市総合計画」の前期基本計画がまとま り、4月27日、総合計画審議会会長の川上洋司氏(福 井大学大学院教授)が、市役所で河瀬市長に答申書を 手渡しました。

今回答申された前期基本計画は、平成23年度から 27年度までの5年間を期間としています。この中では 特に、3月11日に発生した東日本大震災を受け、防 災体制や原子力行政について、市民の安心・安全の確

保を前提としてまちづ くりを進めていくこと が強調されています。

今後は、この前期基 本計画に沿って、具体 的な施策等が行われて いきます。



恋娘と小枝を交換する来場者





桜の小枝に願いを込めて

4月3日 花換まつり

4月1日から15日まで、毎年春の風物詩「花換まつり」が金 崎宮で行われました。今年は恋の成就だけでなく、東日本大震災 からの復興の願いも込めて行われたこの花換まつり。来場者は、「花 換えましょう」と声を掛け合いながら、復興祈願の絵馬が付いた 桜の小枝を福娘と交換しました。また、和服姿の恋娘たちが参加 した「恋の成就祈願祭」や、初の婚活イベント「花換縁結び」など、 期間中は多彩な催しが行われ、たくさんの来場者で賑わいました。





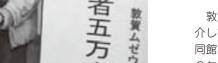


未来の看護師たちが誕生

4月6日 市立看護専門学校入学式

市立看護専門学校で入学式が行われ、33人(男性4人、女 性29人)が看護師を目指し、第一歩を踏み出しました。清水 るみ子学校長は、東日本大震災の発生に伴い、災害時の救護 活動と心のケアの大切さに触れながら、「健康の担い手として、 強い意志を持って頑張ってほしい」とあいさつ。入学生を代 表し、下野結花さんが「看護の道は簡単ではないが、誇りを持っ て着実に歩んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。





5万人達成 おめでとう!

写真を差し上げます。

4月12日 「人道の港敦賀ムゼウム」 入館者 5万人達成セレモニー

あなたが写っていたらご連絡ください。

広報広聴課 ☎ 22 - 8112

敦賀港に上陸したポーランド孤児やユダヤ人難民の歴史を紹 介している「人道の港 敦賀ムゼウム」の入館者が5万人に達し、 同館でセレモニーが行われました。平成20年3月の開館から、 3年あまりでの達成となりました。5万人目となったのは、愛 知県から旅行で訪れた長坂八郎さん・多恵子さんご夫婦。河瀬 市長から記念証と記念品が贈られると、「ムゼウムに来たのは初 めて。5万人目になれるなんて、とても幸せなことで驚いてい ます」と喜びを語りました。

気比神社に向かう子どもたちと区民の皆さん

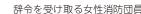




刀根に春の訪れ

4月3日 気比神社の春祭り

刀根区に春を告げる「気比神社の春祭り」が行われました。こ の祭りは、仲哀天皇が敦賀へ行幸したとき、刀根にしばらく立ち 寄ったという言い伝えが元になっています。この日はまだ肌寒く、 厚着をした地区の子どもたちが、桂の枝で作った笠をかぶり、わ ら束と杖を持った独特の姿で刀根区公会堂を出発。寒さを吹き飛 ばすように元気よく声を上げながら区内を練り歩きました。その 後、神社を参拝し今年1年の豊作を祈願しました。







消防団初の女性団員です

4月2日 女性消防団員辞令交付式

敦賀美方消防組合の敦賀、美浜、三方の各消防団に、初の女性団 員が任命されることになり、同組合の消防本部で辞令交付式が行わ れました。今回任命されたのは、20~44歳の計26人。谷本隆之 消防協会長が「女性ならではのきめ細やかさで任務に当たってほし い」と激励すると、代表の宮下阿佐子さんが「生まれ育ったまちの ため、自分自身を磨きながら頑張っていきます」と決意を述べました。 女性団員はこれから、火災予防の広報活動などを行っていきます。

12 13